



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 27 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 浅 尾 洋 平

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	8 月 27 日 午前/午後 11 時 35 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 116 号議案 令和 7 年度新城市一般会計決算認定 歳出 2-1-9 企画費 総合計画策定事業 P 90 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 8) (1) 4,000 人を対象に市民満足度調査を実施したとのことだが、調査結果は市政運営にどのように活用されたのか伺う。 (2) 予算額 3,193 千円に対して決算額 1,801,563 円となっているが、予算額を大きく下回った主な理由を伺う。 2-1-9 企画費 自治基本条例運用事業 P 90 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 15) (1) 地域活動をしている人の割合が前年度の 48% から 41% に低下しているが、その主な理由をどのように分析しているのか伺う。 (2) 予算額に対して決算額との差が生じた主な理由を伺う。 2-1-9 企画費 自治体 DX 推進事業 P 92 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 12) RPA による業務効率化について、目標 20 業務に対して 47 業務を取り組み、年間 100.5 時間の業務時間が削減されたとのことだが、業務効率化の成果をどのように評価しているのか伺う。 2-1-9 企画費 ふるさと納税推進事業 P 92 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 9) (1) ふるさと納税寄附額が 56,394 千円となり、前年度の 41,965 千円から増加しているが、寄附額の増加につながった主要因を伺う。			

(2) 目標額60,000千円に対して56,394千円となっているが、目標額に達しなかった主な理由と今後の課題を伺う。

2-1-9 企画費 移住定住OSI事業 P94

(令和7年度主要施策成果報告書 P10)

(1) SNSのフォロワー数が3,930人、移住希望者からの相談件数が183件となっているが、本事業の成果と今後の課題を伺う。

(2) 予算額に対して決算額が50万円ほど下回った主な理由を伺う。

2-1-16 地域自治区費 地域自治区地域活動交付金事業 P100

(令和7年度主要施策成果報告書 P17)

(1) 92件の申請に対して87件を採択し、21,979千円を交付したとのことだが、本事業の成果と今後の課題を伺う。

(2) 予算額30,000千円に対して決算額21,979千円となっているが、予算額を下回った主な理由を伺う。

2-1-16 地域自治区費 鳳来中部地域自治区地域活動交付金事業

P100

(令和7年度主要施策成果報告書 P22)

乗本万灯の原料となる麦を栽培し、クラフトビールを製造したとのことだが、本事業の成果と今後の課題を伺う。

2-1-16 地域自治区費 鳳来東部地域自治区予算事業 P110

(令和7年度主要施策成果報告書 P29)

乳岩峡周辺の混雑緩和のため、三河川合駅まで無料シャトルバスを21日間運行し、604人の利用があったとのことだが、この取組により、どのような効果があったと評価しているのか伺う。

4-1-2 保健事業費 健康教育事業 P164

(令和7年度主要施策成果報告書 P47)

(1) 健康教育事業の参加者が616人、健康マイレージ事業の参加者が524件となり目標を上回ったが、参加者が増えた要因を伺う。

(2) 令和7年度から健康マイレージアプリを導入したとのことだが、課題は何であったか伺う。

10-4-3 文化財保護費 鳳来寺山自然科学博物館運営事業 P278

(令和7年度主要施策成果報告書 P98)

入館者数が目標8,200人に対して10,109人となり、前年度の7,765人からも増加している。入館者数が増えた主な要因について伺う。

経常収支比率が、令和5年度92.5%、令和6年度95.8%、令和7年度97.1%と上昇しているが、今後の財政運営において、特に注意すべき点を伺う。

6 総評 P 56

- (1) 中期財政計画について「この収支見込みは、財政破綻に向かっていることを示している」とあるが、「財政破綻に向かっている」とした主な理由を伺う。
- (2) 「総論としては、先の中期財政計画の内容が全庁に共有されているかどうか疑問である」とある。また、「今後の大型事業や義務的経費の増大が見込まれる中で、持続可能な財政運営の方針をハッキリ示す必要がある」としているが、庁内において、既存事業の継続や見直しについて、市全体の視点から精査する仕組みがあるのか伺う。

第136号議案 令和7年度新城市病院事業会計決算

総括

- (1) 令和7年度は、事業収益が約37億1,338万円、事業費用が約42億8,945万円となり、約5億7,607万円の純損失となっている。前年度と比べても赤字が拡大しているが、赤字が拡大した主な要因について伺う。
- (2) 令和7年度は、入院収益が約15億2,017万円、外来収益が約10億911万円となっているが、外来収益は前年度より約4,892万円減少している。医業収益が減少した主な理由について伺う。
- (3) 令和7年度は、一般会計から病院事業会計へ、他会計負担金約3億7,371万円、他会計補助金約3億3,228万円が繰り入れられている。病院経営を支えるうえで、一般会計からの繰入金がどのような役割を果たしているのか伺う。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 28 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 鈴木 長 良

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	8 月 28 日 午前/午後 1 時 59 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 116 号議案 令和 8 年度新城市一般会計決算認定 歳出 3-2-1 老人福祉費 地域支え合い事業 P138 (令和 7 年度決算に係る主要施策成果報告書 P37) (1) 補聴器購入補助の実績 (助成金額・申請金額) は。 (2) 事業の成果と課題は。 4-1-5 予防費 予防接種事業 P170 (令和 7 年度決算に係る主要施策成果報告書 P50) (1) 带状疱疹ワクチンの年代別・男女別接種状況は。 (2) 事業の成果と課題は。 6-3-2 林業振興費 新城木育プロジェクト事業 P210 (令和 7 年度決算に係る主要施策成果報告書 P72) 決算額が予算を大きく下回った理由は。			



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 31 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 滝川健司

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受付	8 月 31 日 午前 / 午後 8 時 46 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 116 号議案 令和 7 年度新城市一般会計決算認定 歳入 1 款市税全般 P10, 12 市税における不能欠損額・滞納繰越分・収入未済額の内それぞれの内容と、東三河広域連合滞納整理事業に移管した件数と金額は。 15-1-6 使用料及び手数料 商工使用料 P22 (1) 収入未済額は令和 6 年度決算とほぼ同額だが、内容は同じか。 (2) 係争中を除き、他部局とも連携をしながら法的措置も含めたより強力な対応を検討していくとの事だったがその後は。 15-1-7 使用料及び手数料 土木使用料 P22 都市計画使用料収入未済額の内容は、令和 6 年度決算同様か。 22-4-2 雑入 総務費雑入 P56 (1) 乗車券販売手数料における交通系 IC カード導入の影響は。 (2) 囲いよう地の面積及び解消できない状態か。 22-4-2 雑入 民生費雑入 P56 (1) 不能欠損額及び収入未済額の内容は。 (2) 福祉医療費返還金の内容は。 (3) 生活保護費返還金の内容は。			

歳出 2-1-5 人事管理費 職員研修事業 P 8 4

内部統制・リスク管理・コンプライアンス・ハラスメント等研修の実施状況とその成果は。

2-1-9 企画費 自治体DX推進事業 P 9 2

RPA導入による業務効率化の成果は。

3-4-2 扶助費 扶助事業 P 1 6 2

生活保護費の支給件数及び最高支給額・最低支給額は。

4-1-6 休日・夜間診療所費 夜間診療所運営事業 P 1 7 2

月別・年間受診者数及び年間診療報酬は。

4-1-12 特別会計操出金 病院事業会計負担金 P 1 8 0

医師確保対策に要する経費の内容は。

6-3-2 林業振興費 林業従事者定着促進奨励金事業 P 2 1 2

定着実績は。

総括 決算審査意見書 総評 P 5 7

(3) 予算執行に関することについて

執行残が多く見受けられるとのことだが、その要因分析と改善策について伺う。

第136号議案 令和7年度新城市病院事業会計決算認定

令和7年度新城市決算審査意見書

3 経営状況 一般会計等からの繰入金額の内訳推移 病 8

資本勘定繰入金その他43,850千円の内容は。

4 財政状況 (4) 財務比率について 病 1 4

流動比率・現金預金比率が大きく減少しているが、その要因をどの様に捉えているか、流動資産の減少と流動負債の増加から見て。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 31 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 白頭 聖志

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受 付	8 月 31 日	午前/午後 8 時 47 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)			
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。) 発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)				
第 116 号議案 令和 7 年度新城市一般会計決算認定 歳出 2-1-9 企画費 若者が活躍できるまち実現事業 P 92 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 16) (1) 若者政策 10 周年記念事業などを実施したとのことだが、本事業の 成果と今後の課題を伺う。 (2) 「新城市に住み続けたい」と回答した人の割合が 45% となり、目 標 50%、前年度 48% を下回っているが、主な理由を伺う。 2-1-16 地域自治区費 地域自治区地域活動交付金事業 P 100 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 17) (1) 作手地域の申請 13 件に対し 13 件採択し、予算額 2,522 千円 に対し決算額 1,223 千円となっているが、実施された事業が地域 の課題解決や地域づくりにどのように繋がったか伺う。 (2) 作手地域の予算額と決算額に大きな差があるが理由を伺う。 2-1-17 諸費 自衛官募集事業 P 114 成果を伺う。 6-3-2 林業振興費 保全林環境管理事業 P 210 (令和 7 年度主要施策成果報告書 P 71) (1) 保全林環境管理事業は、予算額 8,140 千円に対し決算額 2,825,958 円と予算額を決算額が大きく下回った理由を伺う。 (2) 県の施設再整備計画と地元住民の要望について、どのような調整を				

行なったのか。また、令和7年度に実施した事業による効果と今後について伺う。

7-1-3 観光振興費 観光のまち新城PR事業 P220

(令和7年度主要施策成果報告書 P75)

(1) 観光PR動画の制作やSNSなどを活用した情報発信を行なっているとのことだが、観光入り込み客数(252万人)は目標(330万人)に到達していない結果をどう認識しているか伺う。

(2) 使用先がなぜ「BSよしもと」なのか伺う。

7-1-3 観光振興費 スポーツツーリズム推進事業 P224

(令和7年度主要施策成果報告書 P77)

アウトドアスポーツを活用した各種自転車の大会やトレイルレースなど開催・支援し、参加者数は目標4,000人に対し4,147人となっている。その評価を伺う。

第117号議案 令和7年度新城市国民健康保険事業特別会計決算認定

歳入 1-1-1 国民健康保険税 P298

令和7年度の国民健康保険税は、調定額約9億6,611万円に対して収入済額約8億5,982万円、収入未済額約1億450万円となっている。滞納繰越分の収納率は改善しているが、収入未済額について認識を伺う。

歳出 3-1-1 一般被保険者医療給付費分 一般被保険者医療給付費分納付金 P310

令和7年度の一般被保険者医療給付費分が令和6年度と比べて減っているが、その理由を伺う。



発 言 通 告 書

令和 8 年 8 月 31 日

新城市議会議長 様

新城市議会議員 山田 辰也

下記のとおり発言したいから通告します。

所要時間	分	受付	8 月 31 日 午前 / 午後 9 時 58 分
発言の種類	一般質問・本会議質疑・ <u>委員会質疑</u> ・討論 (該当に○印を記入)		
発言事項 (一般質問の場合は件名。質疑・討論の場合は議案番号及び議案名。)			
発言要旨 (一般質問・質疑の場合はその要旨。討論の場合は反対・賛成の別。)			
第 116 号議案 令和 7 年度新城市一般会計決算認定 新城市決算審査意見書 6 総評 新体制でスタートとしたとあるが、過去のいくつかの課題は解決したのか。またこれらの運営に対する対応はどのようであったか以下伺う。 (1) 消滅可能性都市への対処は。 (2) 人件費等の義務的経費の増大への対処は。 (3) 中期財政計画を見ると実質単年度収支は赤字が続いているが対処は。 (4) 財政調整基金を毎回取り崩していることへの認識は。			